

年2回、講習及び試験を実施



国土交通省 非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領 適合資格
日本建築学会 JASS 5 T-608 電磁誘導法によるコンクリート中の鉄筋位置の測定方法 適合資格

コンクリート構造物の 配筋探査技術者（土木、建築）

資格認証制度のご案内



学科（一次）試験



実技（二次）試験



配筋探査講習会

【土木・建築】共通試験
実技試験不合格科目は 2 年間
（計 4 回）の再試験受験可能。

↓↓ 詳しくは ↓↓



資格受験の申込みは工業会ホームページから

<http://www.jandt.or.jp/>



一般社団法人 日本非破壊検査工業会

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-8-1 富高ビル 3F
資格試験センター

TEL:03-5207-5960 FAX:03-5207-5961

No.20180713

jandt



<http://www.jandt.or.jp/>



一般社団法人 日本非破壊検査工業会

コンクリート構造物の配筋探査技術者 資格認証制度について

国土交通省が定める「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」において、橋梁の配筋状態及びかぶり測定は電磁誘導法及び電磁波レーダ法を用いた方法が規定されています。

また、建築分野では、日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事」において、構造体コンクリートのかぶり厚さの検査で非破壊検査が示されており、その方法は「JASS 5 T-608（電磁誘導法によるコンクリート中の鉄筋位置の測定方法）」で規定されています。

当工業会では、これらの非破壊検査による測定に係る技術者の養成と確保を目的に、「コンクリート構造物の配筋探査技術者資格認証制度」を設けており、橋、高架の道路橋の技術基準による「コンクリート構造物の配筋探査技術者（土木）」と、JASS 5 T-608 による「コンクリート構造物の配筋探査技術者（建築）」の資格認証を実施しています。

資格の対象範囲、試験の種類、受験申請などについて紹介します。

（詳細につきましては、当工業会 Web サイト「資格認証 土木 / 建築」の「コンクリート構造物の配筋探査技術者（土木、建築）資格認証制度のご案内」をご確認ください。）

適用規格

国土交通省編 2012：非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領・同解説（以下、鉄筋測定要領という）

日本建築学会：「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事 2015」
JASS 5 T-608：2015「電磁誘導法によるコンクリート中の鉄筋位置の測定方法」

（一社）日本非破壊検査工業会規格

- ・検規 -6501：2017 コンクリート構造物の配筋探査技術者認証規準
- ・検規 -6502：2012 コンクリート中の配筋探査に使用する装置についての規格

対象範囲

国土交通省の「鉄筋測定要領：2012」に規定された、土木（橋梁）のコンクリート構造物（橋梁上部・下部工事及びボックスカルバート）の非破壊試験による鉄筋の配筋状態及びかぶり厚さ測定

日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS 5 鉄筋コンクリート工事 2015」に規定された、建築分野の構造体コンクリートの鉄筋位置及びかぶり厚さ測定



土木構造物



建築構造物

試験の種類

新規試験	資格を取得していない者が受ける最初の試験のことで、「学科（一次）試験」と「実技（二次）試験」があります。 「実技（二次）試験」には、「電磁波レーダ法実技試験」と「電磁誘導法実技試験」の2科目があります。 「学科（一次）試験」合格後、「実技（二次）試験」を2年間受験することができ、不合格科目については再受験が可能です。
更新審査	更新とは、資格を既に取得している者が、新規認証登録日又は再認証登録日から5年の有効期限を超えて資格延長することを言います。 更新するためには、更新審査（書類審査）に合格する必要があります。 更新審査は、資格の有効期限の1年前から申請できます。
再認証試験	再認証とは、資格を既に取得している者が、更新後の有効期限を超えて資格延長することを言います。 再認証には再認証試験に合格する必要があります。 「配筋探査技術者資格（土木）」の再認証試験は、「電磁波レーダ法」及び「電磁誘導法」による実技試験とし、「配筋探査技術者資格（建築）」の再認証試験は、「電磁誘導法」の実技試験とします。 再認証試験は、資格の有効期限の2年前から受験できます。

受験申請資格

日本非破壊検査工業会主催「コンクリート中の配筋探査講習会」受講者

日本非破壊検査工業会主催「JASS 5 T-608 講習会」修了者

コンクリート構造物における配筋探査及びかぶり厚さ測定の教育・訓練を40時間以上受けたことを雇用主により証明された者

その他、次の資格を有する者

- (1) コンクリート技士・主任技士 (2) コンクリート診断士 (3) 建築士（一級、二級）
- (4) 土木施工管理技士（1級、2級） (5) 建築施工管理技士（1級、2級） (6) 技術士

資格認証技術者の要件

コンクリート構造物の配筋探査技術者（土木）資格

資格認証試験の「学科（一次）試験」合格後、「実技（二次）試験」の2科目「電磁波レーダ法実技試験」と「電磁誘導法実技試験」の両方を有効期限内に合格した者

コンクリート構造物の配筋探査技術者（建築）資格

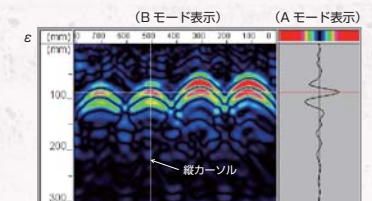
「JASS 5 T-608 講習会修了者」で、かつその有効期限内に資格認証試験を受験申請し「学科（一次）試験」合格後、「電磁誘導法実技試験」に合格した者。

又は、既に「コンクリート配筋探査技術者資格」を有する者が、資格認証試験の「学科（一次）試験」合格後、「電磁誘導法実技試験」に合格した者で、かつその有効期限内に「JASS 5 T-608 講習会」を修了した者。

探査事例



作業風景



測定結果画像の表示

測定結果例